

T氏邸 (広島県広島市)

経済性で高い評価のエコキュート オール電化住宅をレベルアップ



オール電化で快適なシステムキッチン

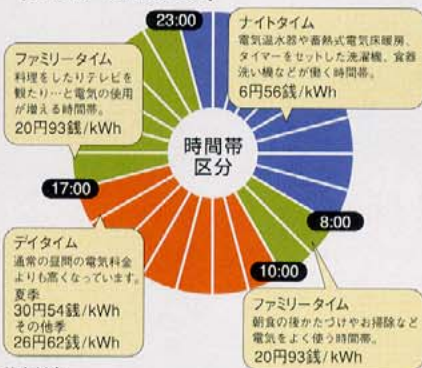


エコキュートは玄関右側に設置

住

宅設備メーカーのショールームには、使いやすくデザインも優れたキッチン、バスルームなどの設備がとことろ狭しと展示されています。しかし住宅設備は毎日使うもの、施主にとって使い勝手のよさや安全性、デザインも大切ですが、気になるのはランニングコストでしょう。その全てを解決するアイテムとして今、全国で大きく伸びているのが「電化住宅」です。中国地区では、新築戸建て住宅の約4割は「オール電化住宅」になっています。今回は、この中国地区で、オール電化を採用されたTさんのお宅をご紹介します。

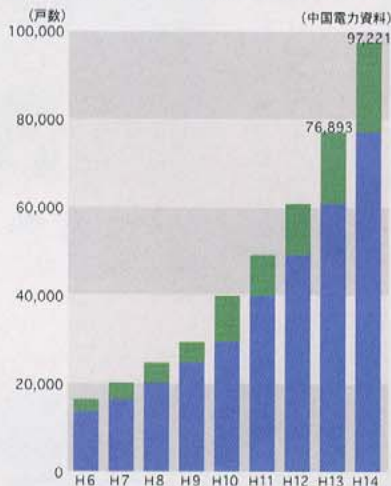
中国電力の電化住宅向け電気料金メニュー 【ファミリータイムプランI】



| 基本料金 | | |
|------------|------|-----------|
| 最初の10kVAまで | 1契約 | 2,000円00銭 |
| 10kVA超過分 | 1kVA | 370円00銭 |

中国電力には、ファミリータイム「プランI・II」に加入した電化住宅に対して、さらに10%の料金(上限は1カ月につき3000円)を割引く「電化住宅プラン」があります。
※ファミリータイム「プランI・II」は、1kVA以上のエコキュートや電気温水器を使用されている場合に選べます。

中国地区の電化住宅建設戸数の推移(累計)



広島でマンション暮らしだったTさんが、戸建て住宅の新築を決め、「さて、キッチンやお風呂はどうしようか」と考えていた時、Tさんの奥様のお姉さんから耳寄りのお話を聞きました。電化住宅にして、給湯器をエコキュートにすると、給湯のランニングコストが月約1000円ですむというのです。「本当かしら?」と、設計事務所に相談すると、エコキュートの性能はお姉さんの言うとおりで、さらに、電化住宅に適

給湯コストが月1000円に

した割安の電気料金メニューも用意されているということでした。Tさんが驚いたのは、一般的に住宅の光熱費の三分の一を占めるのが給湯のコストだということ。お風呂やキッチンでそれほどたくさんのお湯を使っているとは思っていませんでした。意外な数字でした。

オール電化住宅の経済性に驚き

広島市西区高須台は、市の中心部を一望のもとに見下ろせる住宅地です。この一角に2階建ての家が完成し、Tさん一家の「電化生活」が始まりました。もちろん給湯器はエコキュートで、キッチンはIHクッキングヒーターや食器洗い乾燥機が揃ったシステムキッチン、そして空調。この家の熱源はすべて電気です。

電気料金メニューは、一日を3時間帯に分けた「ファミリータイムプランI」を選び、一番割安なナイトタイムをエコキュート等で有効に活用しています。さらに、オール電化住宅ということで、電気料金が10%割引になる「電化住宅プラン」もセット。

入居して約一カ月が過ぎた頃、電気料金の請求書を見てびっくりしました。家族構成はご夫婦と小学2年生・5年生のお子様の4人家族。以前住んでいたマンションは、月々の光熱費は2万5000円程度でしたが、現在の新居での初めての電気料金請求額は、なんと半額以下の「1万円」だったからです。翌月も翌々月も、電気料金の請求額はほとんど変わらず、Tさんはエコキュートと電化住宅の実力を日々実感しています。